

令和5年7月12日
消 防 庁

令和5年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

令和5年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人18名、団体9団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員10名、女性（婦人）防火クラブ員4名

（受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び女性（婦人）防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

○ 安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

- 1 日時 7月18日（火）13時30分～14時00分
- 2 場所 合同庁舎第二号館地下2階講堂
東京都千代田区霞が関二丁目1番2号



連絡先
消防庁総務課
山澤政策評価広報官・
横堀係長・田中事務官
TEL 03(5253)7521 内線 42173

令和5年度

安全功勞者総務大臣表彰
消防功勞者総務大臣表彰

令和5年7月

消 防 庁

1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- おく た 奥 田 こ マサ子（青森県・青森県幼少年女性防火委員会
女性防火部会 前部会長） ----- 1
- おお たき よう こ 大 瀧 陽 子（栃木県・真岡市女性防火クラブ連合会 会長）
- い はし よし かず 井 橋 吉 一（埼玉県・越谷市防火安全協会 会長） ----- 2
- ほん だ しん いち 本 田 眞 一（千葉県・八千代市防災協会 会長）
- さか ぐち やす こ 坂 口 泰 子（東京都・玉川防火防災協会女性部会 会長） ----- 3
- あし だ しょう はち 芦 田 昭 人（東京都・江戸川危険物安全会 常任相談役）
- ひら もと かつ や 平 本 勝 哉（東京都・町田防火防災協会 会長） ----- 4
- ふる いち やす のり 古 市 保 則（岐阜県・養老郡危険物安全協会 会長）
- きた なか よし き 北 中 良 樹（滋賀県・湖南防火保安協会 会長） ----- 5
- つか もと よし かた 塚 本 能 交（京都府・京都市南防火協会 会長）
- いし がき しげ かず 石 垣 繁 一（大阪府・淀川公衆集合場防火協議会 会長） ----- 6
- なか の まさ こ 中 野 昌 子（大阪府・松原市婦人防火クラブ連合会 会長）
- ます だ ゆたか 増 田 豊（大阪府・阪南岬火災予防協会 会長） ----- 7
- たか つ のぼる 高 津 昇（大阪府・一般財団法人大阪府消防防災協会 理事長）
- あさ い まつ よ 朝 井 松 代（兵庫県・兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長） --- 8
- う の さとし 宇 野 英（山口県・周東幼稚園幼年消防クラブ 会長）
- い すみ たつ あき 和 泉 達 明（福岡県・みやま市防災協会 監事） ----- 9
- かわ の のり こ 川 野 典 子（大分県・マミーズ鶴岡婦人防火クラブ 会長）

2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- いっばんざいだんほうじんにいがたけんしょうぼうせつびきょうかい 一般財団法人新潟県消防設備協会（新潟県） ----- 10
- かかみがはらしじよせいぼうか 各務原市女性防火クラブ（岐阜県）
- どうじょうちようぼうさいふくし 道場町防災福祉コミュニティ（兵庫県） ----- 11
- め が ふじんぼうか 妻鹿婦人防火クラブ（兵庫県）

- はま だ じ しゅ ぼう さい かい 浜田自主防災会（兵庫県） ----- 12
- いっ ぽん しゃ だん ほう じん ひょう ぐけん しょう ぼう せ つ び ほ し ゆ き しょう かい 一般社団法人兵庫県消防設備保守協会（兵庫県）
- しん と ま ち だ い い ち だ い に ふ じん ぼう か 新戸町第1・第2婦人防火クラブ（長崎県） ----- 13
- こっ かつ こう わ いん き しょう さい く み あ い れん ぐ ough かい く ま も と き しょう さい かい かん 国家公務員共済組合連合会熊本共済会館（熊本県）
- とく てい ひ えい り かつ とう ほう じん さと 特定非営利活動法人あやの里（熊本県） ----- 14

3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- くま の ちか ら 熊野主税（北海道・せたな町瀬棚消防団 団長） ----- 15
- やま だ さとし 山田 悟（北海道・今金町消防団 団長）
- こま みね とし あき 駒嶺 敏 昭（青森県・風間浦村消防団 団長） ----- 16
- ふた また ふみ お 式又 文 雄（岩手県・野田村消防団 団長）
- か な く ぼ しげる 金久保 繁（埼玉県・杉戸町消防団 団長） ----- 17
- す が まさ ゆき 須賀 正 幸（埼玉県・春日部市春日部消防団 団長）
- にし かわ さぶ ろう 西川 三 郎（富山県・氷見市消防団 団長） ----- 18
- まつ お ゆき お 松尾 幸 夫（三重県・亀山市消防団 団長）
- かわ かみ きよ ふみ 川上 清 記（長崎県・雲仙市消防団 団長） ----- 19
- みち わき しんいちろう 道脇 慎一郎（大分県・白杵市消防団 副団長）

4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性(婦人)防火クラブ員）

- あん ざい まさ こ 安齋 政 子（福島県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 20
- おがさわら す よ こ 小笠原 壽予子（高知県女性防火クラブ連絡協議会 副会長）
- きた むら かず え 北村 和 江（石川県女性防火クラブ連絡協議会 副会長） ----- 21
- かわ かみ むつ こ 河上 睦 子（鳥取県女性防火・防災連絡協議会 副会長）

安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

個人の部

○奥田 マサ子

青森県・青森県幼少年女性防火委員会女性防火部会 前部会長

平成19年4月に豊崎婦人消防クラブ（平成25年に豊崎女性消防クラブへ名称変更）に入会し、平成21年4月会長に就任、また、平成27年5月に八戸地域女性消防クラブ協議会会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力、積極的な行動力により協議会の育成発展に尽力している。

さらに、令和3年5月には青森県幼少年女性防火委員会女性防火部会部会長にも就任するなど、各関係団体の要職に長年就き、八戸市はもとより青森県の女性消防クラブの指導者として活躍し、地域の安全・安心の普及・啓発に多大な貢献をしている。

○大瀧 陽子

栃木県・真岡市女性防火クラブ連合会 会長

平成22年4月に真岡市婦人（現女性）防火クラブ連合会会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。女性防火クラブの代表として自ら率先し、住宅用火災警報器及び家庭用消火器の設置率向上への取り組みや、火災予防運動実施期間中、各家庭を訪問し、防火啓発に関する配布物等を配布するなど、家庭、地域での防火思想の普及、啓発活動に精励し、安心安全のまちづくりに尽力している。

また、平成25年4月からは、栃木県婦人防火クラブ連合会の副会長に就任し、消防機関及び関係団体が実施する事業にも積極的に参加するなど、地域社会の発展に多大な貢献をしている。

い はし よしかず
○井橋 吉一

埼玉県・越谷市防火安全協会 会長

平成5年7月に越谷市防火安全協会理事、平成13年5月に副会長、平成27年5月に会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に尽くしている。

また、消防機関及び関係団体と連携し、日頃から率先して地域の防火・防災の行事に参加するなど、越谷市の消防、防災の指導者として活動している。地域住民の信頼も厚く、防火・防災思想の普及啓発に尽力し、地域の安心と安全に多大な貢献をしている。

さらに、令和元年5月には公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会の理事に就任し、県域の危険物の事故防止と安全管理体制の確立に多大な貢献をしている。

ほんだ しんいち
○本田 眞一

千葉県・八千代市防災協会 会長

平成12年5月に八千代市防災協会理事に就任し、平成18年5月には副会長に、平成29年5月から会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、高い識見と卓越した指導力により会の充実と育成発展に尽力している。

この間、研修会や屋内消火栓操法大会など各種行事等に参加し、会員相互の融和親睦と危険物施設における安全管理や事故防止の普及・啓発活動に取り組んでおり、さらに、火災予防運動期間中には、小・中学生を対象に防火ポスター展を開催し、子供たちの火災予防思想の高揚や健全な育成を図り、安心・安全な地域社会づくりに寄与している。

また、平成29年6月に一般社団法人千葉県危険物安全協会連合会監事に就任、令和3年5月から副会長の要職に就き、県民への危険物取扱者や危険物取扱事業所への安全管理の徹底と意識の高揚に多大な貢献をしている。

さかぐち やすこ
○坂口 泰子

東京都・玉川防火防災協会女性部会 会長

昭和62年7月に玉川防火防災協会女性部会会長に就任し、現在に至る。火災予防運動時の巡回広報では、自ら会員を指導して効果的に広報し、区民の防火防災意識の醸成に努めている。玉川防火防災協会主催の防災関連施設の視察研修に参加し、防災施設等についての見識を深め、会員に対して普及啓発を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大の中、水災時や震災時に参集する消防職員の待機場所に町会公民館使用のための協定締結に尽力し、消防署に多大な協力をした。深沢地区町会連合会主催の9町会（10,340世帯）合同の訓練を年1回、これまで4回実施した。現在も会長職として活躍し、地域の防火防災に多大な貢献をしている。

あしだ しょうはち
○芦田 昭八

東京都・江戸川危険物安全会 常任相談役

昭和53年から現在に至るまで、江戸川危険物安全会の理事、監事、副会長を歴任後、平成18年4月から会長に就任し、会の役員として45年にわたり、豊富な識見と卓越した指導力により会の各事業を精力的に推進するとともに会の運営と発展に寄与した。

また、江戸川危険物安全会の他、小松川交通少年団団長、江戸川谷河内北町会会長及び小松川交通安全協会会長等も歴任しており、地域児童の健全な育成及び地域事業所、住民の防火防災思想の普及・啓発の指導者として住民からの信頼も厚く、地域の安心・安全に多大な貢献をしている。

ひらもと かつや
○平本 勝哉

東京都・町田防火防災協会 会長

昭和58年2月に町田防火防災協会へ入会して以来、理事、監事、副会長を歴任、平成18年4月からは会長を就任し、以来多年にわたり、会の発展にご尽力されている。この間、町田消防署や消防関係団体と連携・協力した各種行事等に携わり、会員相互の融和親睦と連携体制の強化を進めながら、地域の防火防災思想の普及及び防災行動力の向上を推進した功績は、誠に顕著であり、他の模範である。

さらに、公益財団法人東京連合防火協会の監事や町田市町内会・自治会連合会の地区会長を務めるなど、会員はもとより消防機関や地域住民の信頼も厚く、安全・安心な地域社会の実現に向けて、多大な貢献をしている。

ふるいち やすのり
○古市 保則

岐阜県・養老郡危険物安全協会 会長

平成14年5月に養老郡危険物安全協会役員理事に就任、また、平成18年5月から同協会会長に就任して以来、事故対策、安全対策、事故拡大防止策、協会員の安全教育に貢献するとともに、危険物施設の維持管理を積極的に進め、危険物等に起因する災害防止に尽力している。その姿勢は地域の事業所において模範となるものであり、今後も中心的な役割を担うことが期待される。

さらに、令和4年4月より岐阜県石油商業組合の理事にも就任し、近年の災害の大きさを鑑みて、災害時における燃料供給、帰宅困難者支援等について対策を強化している。地域を代表する企業として、利用者への安全に、また安定的な燃料供給ができるよう尽力している。

きたなか よしき
○北中 良樹

滋賀県・湖南防火保安協会 会長

平成19年5月に湖南防火保安協会北・東支部理事、平成22年5月に湖南防火保安協会北支部副支部長および湖南防火保安協会理事、平成25年5月に湖南防火保安協会副会長、平成28年5月に湖南防火保安協会北支部長、令和4年5月に湖南防火保安協会長に就任され、豊富な識見と卓越した指導力により、防火思想の普及・啓発に尽力されている。

特に、大規模災害発生時における湖南広域消防局と事業所の連携体制を確立させるため平成18年に締結された「災害時の消防活動等支援に関する協定」に著しく尽力され、消防・防災の指導者として、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

つかもと よしかた
○塚本 能交

京都府・京都市南防火協会 会長

京都市南防火協会の副会長として、長年にわたり、京都市南防火協会会長を補佐してきた。また、令和5年5月に京都市南防火協会の会長に就任してからは、同協会の活動を通じて、南区における防火防災に関する事業に大きく貢献している。

京都市南防火協会の副会長在任中には、その役割を十分に認識し、事業所（現：株式会社ワコール）における福利厚生事業として、住宅用火災警報器の社内販売への取組や、当該事業所に所属の陸上選手をモデルに起用した防火防災啓発ポスターを南消防署と共同で作成する等の啓発活動を展開した。こうした業績により、「第15回防災まちづくり大賞 日本防火・危機管理促進協会理事長賞（住宅防火部門）」を受賞した。

南区内の自主防災会との災害時における情報共有等をはじめとした、災害時協力体制の構築に向けた取組に積極的に関わるなど、その活動は南防火協会の発展のみならず、南区民における防火意識高揚や南区における防災力の向上に大きく寄与している。

いしがき しげかず
○石垣 繁一

大阪府・淀川公衆集合場防火協議会 会長

平成18年5月から淀川防火協力会の副会長に就任、平成18年6月には淀川公衆集合場防火協議会会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

平成22年7月の大阪市公衆集合場防火連合協議会の副会長での活動を経て、平成26年7月には大阪市公衆集合場防火連合協議会会長に就任し、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、淀川区はもとより大阪市の消防・防災の指導者として活動している。各事業者や地域住民からの信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

なかの まさこ
○中野 昌子

大阪府・松原市婦人防火クラブ連合会 会長

平成7年11月に松原市婦人防火クラブ連合会に入会、平成19年5月に同連合会幹事、平成27年5月に同連合会副会長に、また、平成29年5月には会長に、令和元年5月には大阪府女性防火クラブ連絡協議会の幹事、令和5年5月から大阪府女性防火クラブ連絡協議会副会長に就任し、防火・防災の啓発活動へ積極的に参加し多大な貢献をしている。

平成7年の加入から今日まで約27年間、絶えず率先して地域防火・防災活動に従事し、その活動ぶりは当クラブ員の模範であり、また、その秀でた指導力と持ち前の明るさで当クラブの組織の発展に大きく尽力している。また、当市並びに大阪府全体における地域防災のリーダーとして「防火の輪」を広げ、安心・安全なまちづくりに、多大な貢献をしている。

○増田 豊

大阪府・阪南岬火災予防協会 会長

平成11年4月に阪南市火災予防協会に会員として入会して以降、平成14年4月に阪南岬火災予防協会に組織改編されてからは理事、副会長を歴任し、平成30年5月に会長に就任した。現在に至るまで防火・防災思想の普及啓発に努めるとともに、豊富な経験と卓越した実行力により、協会の育成発展に尽力している。

特に会長就任後は、自ら先頭に立ち、各種事業を積極的に推進し、消防機関主催の行事にも惜しみもなく協力するなど、消防機関や地域住民の信頼も厚い。

また、火災予防協会の要職のほか、阪南建設業協同組合理事長等を務め、広く地域社会の安心安全に多大な貢献をしている。

○高津 昇

大阪府・一般財団法人大阪府消防防災協会 理事長

平成元年1月に自社の代表取締役社長就任以来、建築物における消防機器等の設置工事・保守点検を行う消防設備工事の事業に精励する傍ら、平成15年5月から財団法人大阪府消防設備協会の理事に就任、令和5年6月には、法人格と名称を変更した同協会理事長に就任し、その間、豊富な識見と卓越した指導力により、組織強化と健全運営に取り組み、会員事業所の技術力の向上に尽力するとともに、同協会の発展に尽くした。

また、消防行政への深い理解のもと、防火・防災意識の高揚にも献身的に取り組み、率先垂範の姿勢は会員のみならず地域住民からも厚い信頼が寄せられている。各種関係団体の要職も兼任し、各会の育成発展への取組を通じて、地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

あさい まつよ
○朝井 松代

兵庫県・兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会 副会長

平成23年4月に兵庫県婦人防火クラブ連絡協議会委員、また、令和4年8月には副会長に就任して以来、毎年、県内外で開催される研修会等に積極的に参加し、豊富な識見と卓越した指導力により、兵庫県内婦人防火クラブの発展に尽力し、他の模範となっている。

さらに、平成23年4月から、西脇多可婦人防火クラブ連絡協議会会長（現：西脇多可婦人防火クラブ会長）にも就任し、家庭における火災予防思想の普及、啓発に尽力し、西脇市、多可町の防火・防災指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

うの さとし
○宇野 英

山口県・周東幼稚園幼年消防クラブ 会長

平成17年11月に幼年消防クラブの設立に尽力し、現在に至るまで中心的存在として活躍し、「健康で明るくたくましい子供」を教育目標のもと、心身共にたくましく豊かで調和のとれた幼児の育成に取り組んでいる。

防火に関する知識を身に付けるため避難訓練の実施や火災予防運動中には防火パレードを行い、また定期的に防火演技（こども太鼓）を町内で実施するなど、同氏が中心となってクラブ員を指導し、幼年消防クラブとして地域住民に防火宣伝活動を活発に行っている。また結成以来、地域の福祉施設を毎年訪問して歌や防火演技を披露し、お年寄りとの交流を深めるなど、地域の人々とのふれあいを通じて豊かな心を育む活動を積極的に行っている。

いずみ たつあき
○和泉 達明

福岡県・みやま市防災協会 監事

平成15年6月に三山地区防災協会（現：みやま市防災協会）の理事に就任、その後、平成25年7月に監事に就任し、現在まで20年間に渡り、豊富な識見とその卓越した指導力により、役員として会の発展に尽力している。

常に会の運営に積極的に携わり、監事として当協会の事務を監査するとともに、事業の健全な運営に大きく寄与している。また、ひとり暮らし高齢者世帯への住宅用火災警報器設置促進事業を継続して実施し、市内の設置率向上に大きく貢献している。

さらに、様々な防災事業を通して、会員の防災意識の高揚に努め、防火・防災思想の普及に努めており、地域全体の安全・安心なまちづくりに多大な貢献をしている。

かわの のりこ
○川野 典子

大分県・マミーズ鶴岡婦人防火クラブ 会長

平成元年3月にマミーズ鶴岡婦人防火クラブに入会、地域住民の防火・防災意識の向上を目指し、広報活動を中心に多岐にわたる啓発活動を行い、平成18年2月には同クラブ会長に就任、平成20年6月には大分県婦人防火クラブ連合会（現：大分県女性防火・防災クラブ連合会）副会長に就任し、地域防災力の強化に貢献をしている。

大分県婦人防火クラブ連合会副会長就任後は、各種研修会、防災訓練に積極的に参加し、更なる知識向上、技術習得に努めるとともに、防火、防災活動は関係団体との連携、協力が重要であることを認識、各団体との調整役として活躍しており、地域防災力の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

団体の部

いっばんざいだんほうじんにいがたけんしょうぼうせつ びきょうかい
○一般財団法人新潟県消防設備協会

(理事長 外立 健藏)

所在地 新潟県新潟市

一般財団法人新潟県消防設備協会は、消防用設備等の設置工事及び維持管理の適正化を目的として、昭和51年6月に任意団体の新潟県消防設備保守協会として発足して以来、今日までの長年にわたって、消防用設備等の設置促進・維持管理の適正化の推進、関係技術者（消防設備士、消防設備点検資格者等）の指導育成等の各種事業を推進している。併せて、火災予防思想の普及啓発、地域の防災活動等への参加等、建築物の防火安全に資する各種事業の展開を通じて、県下の防火対象物及び一般住宅の防火安全の徹底と地域住民に対する防火、防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

かかみがはらしじょせいぼうか
○各務原市女性防火クラブ

(会長 森 静子)

所在地 岐阜県各務原市

昭和57年1月に各務原市婦人防火クラブとして発足し、平成7年4月に各務原市女性防火クラブに名称変更。一般家庭からの火災を防止するため防火に対する認識を深め、初期消火方法など技能を習熟するとともに、住宅用火災警報器の設置促進活動など火災予防思想の高揚と地域の隣保協力体制、連帯意識の高揚を図り、地域の火災予防に積極的に取り組んでいる。

また、毎年女性防火クラブの集い、救命講習、地域の防災訓練を開催するとともに、消防出初式、文化財防火・防災訓練などの各種行事にも積極的に参加するなど、幅広い活動を展開し地域住民の防火意識の高揚に尽力している。

どうじょうちょうぼうさいふくし
○道場町防災福祉コミュニティ

(会長 宇津 尚俊)

所在地 兵庫県神戸市

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を教訓とし、平成10年11月に結成されて以来、安全で安心して暮らせる街づくり実現のため、防災活動と福祉活動を連携させ災害に強いまちづくりを目指している。

地域では、小学校とも連携し子供たちへの防災学習や訓練にも積極的に参画しており、過去の災害（河川の氾濫や土砂災害等）の教訓から情報連絡網の体制づくり、緊急避難訓練や非常炊出し訓練、更には子供たちを中心に防災キャンプを実施している。

また、消防、警察、区役所などの公的機関とも連携を密にし、行政と地域の意思疎通も円滑に行われており、安心・安全なまちの実現に大きく貢献している。

めがふじんぼうか
○妻鹿婦人防火クラブ

(隊長 熊野 法子)

所在地 兵庫県姫路市

昭和58年10月発足以来、「家庭、地域から火災を出さないこと」をスローガンに掲げ、主婦層を中心に防火意識を高める活動をしており、消火器の取扱い訓練による初期消火技術の習得、救急講習の開催による応急救護知識の向上、防火研修会による火災予防意識の普及啓発等の活動に積極的に取り組んでいる。

また、消防署主催の視察研修では、火災事例、燃焼実験から身近な火災危険を再認識するとともに、火災から命を守るために住宅用火災警報器の設置、維持、点検の重要性を深く理解し、地域行事を通じて広報を実施している。

さらに、「家庭防火セミナー」等の研修会では、地域・家庭で抱えている問題、疑問点等を投げかけるなど、常に積極的な姿勢で防火・防災意識の高揚を図っている。

これらの精力的な活動体制が確立された組織の形態は他の模範であり、地域の牽引者として多大な貢献をしている。

はま だ じ しゅ ぼう さい かい
○浜田自主防災会

(会長 寺坂 美一)

所在地 兵庫県尼崎市

浜田自主防災会は、浜田社会福祉連絡協議会を母体とし、「自分達のまちは、自分達で守る」という、郷土愛護と自助・共助の精神のもと、平成11年12月に結成された自主防災会である。

市内の南部に位置し、海拔が低く、武庫川に近い地域であることから、住民の防災意識は強く、普段から地域コミュニティの醸成と併せて、地域防災力の向上に努めている。

具体的な取組としては、年1回以上の地域と行政、消防団などと連携した防災訓練の実施や、災害時に支援が必要になる要配慮者や市が連携する関西国際大学の学生らに参加を呼びかけるなど地域の課題共有や次なる防災の担い手の育成の取組は他の自主防災会の模範となる。

いっ ぱん しゃ だん ほう じん ひょう ぎょ けん しょう ぼう せつ び ほ し ゅ き ょ う かい
○一般社団法人兵庫県消防設備保守協会

(会長 安積 和也)

所在地 兵庫県神戸市

一般社団法人兵庫県消防設備保守協会は、昭和51年1月に兵庫県神戸市に発足して以来、消防用設備等の設置及び維持管理の適正化、防火対象物の安全対策の推進、防火防災思想の普及等を行うことにより、火災予防及び火災による被害の軽減を図り、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的に活動を続けている。

また、消防設備士や消防設備点検資格者等関係技術者の指導育成を行うとともに、地域の防災活動や訓練等への参加協力を積極的に推進している。

これらの事業を通じて兵庫県民の防火・防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

しん と まちだいいち だいに ふ じんぼう か
○新戸町第1・第2婦人防火クラブ

(代表 瀧本 智子)

所在地 長崎県長崎市

平成4年9月に結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という意識のもとに、本市が実施する消防出初式、婦人防火クラブ幹部研修会及び市民防火のつどい等各種行事に積極的に参加し、会員の防火防災意識の高揚に努めているほか、地域での防火防災訓練にも率先して参加するなど、自主防火体制の中心的な存在として活動している。

また、火災予防期間中の防火広報や地域住民による歳末消防警戒に伴う夜警に参加するなど幅広い活動を展開するとともに、オリジナルの火の用心横断幕を作成し、掲揚することで火災予防を呼びかけるなど、地域の防火防災意識の高揚に大きく貢献している。

こっ か こう む いんきょうさいくみあいれんごうかいくまもときょうさいかいかん
○国家公務員共済組合連合会熊本共済会館

(総支配人 倉科 一郎)

所在地 熊本県熊本市

昭和26年5月に国家公務員共済組合連合会熊本宿泊所、通称「五峯閣」を開設以来、ホテルスタッフによる消防訓練や、火気設備、避難施設等の自主点検などによりホテルの安全対策の強化、防災意識の高揚に取り組んでいる。

平成28年4月の熊本地震の際には、近隣住民約600人の受入れ、地域住民への毛布、飲料水、トイレ等の提供、近隣の小学校避難所における炊き出しなどを行っている。

また、台風の際には、地域住民に避難所としてホテルの宴会場を無料開放し、コロナ禍でも、帰宅困難となった医療従事者の宿泊の受入れを行うなど、地域社会に多大な貢献をしている。

とくてい ひ えい り かつどうほうじん さと
○特定非営利活動法人あやの里

(理事長 岡元 奈央)

所在地 熊本県熊本市

平成13年5月の法人設立以来、長年にわたり適正な防火防災管理に努め、毎年のように訓練は欠かさず実施されており、消防訓練時には職員一人ひとりが「防火防災」に対し高い意識を持って参加している。

平成28年4月に発災した熊本地震では、施設全体を2か月以上避難所として地域住民に提供し、寝具及び食糧の供給を延べ150名以上に実施している。この経験から、岡元理事長に避難所開設についての講演依頼が多数あり、全国各地で実施している。

また、風水害の際に施設全体を開放し、大学生ボランティアと協力して、地域に開かれた事業所を目指し、地域住民に対し多大な貢献をしており、他事業所の模範となるものです。

消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性防火クラブ員

消防団員

くまの ちから
○熊野 主税

北海道・せたな町瀬棚消防団 団長

昭和49年12月に入団以来、48年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

消防業務諸般に精励し、消防組織の育成強化と消防施設整備の充実を図るとともに、火災その他災害発生に際して出動し、住民の生命、財産を守るため、現場活動の指揮に当たる。地域での防火広報及び一般家庭査察を実施するなど、積極的な火災予防の啓発を促し、火災予防思想の普及に努め、地域住民から絶大なる信頼を受けている。

また、令和4年からは、北海道消防協会副会長及び日本消防協会理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

やまだ さとし
○山田 悟

北海道・今金町消防団 団長

昭和50年10月に入団以来、47年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

令和4年8月に北海道消防大会の実行委員長として北海道消防協会をはじめ各関係機関との連携を図り、当組合構成町の職員・団員に積極的な働きかけや準備を取り進め、総務省消防庁長官、日本消防協会会長、北海道知事をはじめとする多くの来賓と北海道内各消防団総勢約800人のご列席をいただき、当町において檜山初開催となった本大会を成功に導いた。

また、令和4年6月からは、北海道消防協会理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

こまみね としあき
○駒嶺 敏昭

青森県・風間浦村消防団 団長

昭和59年12月に入団以来、38年余の長きにわたり、率先して地域消防、防災活動に専し団員の訓練強化に尽力し、団長就任後は、消防団員の待遇改善、充実を図るなど多大なる貢献をしている。

令和3年8月豪雨の際、一部村民が孤立状態となったときに指示を的確に行い、二次被害防止に努めた。自衛隊・警察・常備消防と連携して避難困難者の救助を行うなど、豪雨の中1人として人的被害を出さず、被害の軽減に多大な貢献をした。

また、風間浦村の消防力の充実強化に日々精励しており、地域の防災力向上及び消防の育成強化に大いに貢献しているものである。

ふたまた ふみ お
○式又 文雄

岩手県・野田村消防団 団長

昭和51年9月に入団以来、46年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民からの信望も極めて厚く、他の模範とするにふさわしいものがある。

消防庁長官表彰功労章受章後は、コロナ禍においても地域住民の火災予防普及に使命を徹し、感染予防対策を講じた上で、各分団へ夜間パトロールを指示する。こうした活動から、令和2年3月6日から令和4年4月13日までの2年以上にわたり無火災を達成する。以上のように、火災予防に寄せる氏の功績は誠に顕著なものがある。

また、平成25年6月から岩手県消防協会監事として、平成27年6月からは理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

○^{かなくぼ}金久保 ^{しげる}繁

埼玉県・杉戸町消防団 団長

昭和60年4月に杉戸町消防団員を拝命以来、38年余りの永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は他の模範である。

消防団員拝命以来、幾多の災害に出動しているが、令和4年11月20日に建物火災が発生した際、氏は冷静沈着な判断のもとに指揮を執り、延焼を食い止め被害を最小限に抑えることに貢献した。

また、女性消防団員誕生のために「杉戸町女性消防団員検討委員会」の副委員長として1年半もの期間に渡り協議検討を重ね、平成12年10月1日、12名もの女性消防団員の誕生に尽力した。

令和3年4月からは埼玉県消防協会の副会長としても尽力しており、その功績は誠に顕著である。

○^{すが}須賀 ^{まさゆき}正幸

埼玉県・春日部市春日部消防団 団長

昭和40年12月に春日部消防団員を拝命以来、57年余の永きにわたり常に郷土愛護の精神に徹し、消防団員としての責任を自覚、研磨努力し積極的に職務遂行に当たった。

平成22年4月に団長に就任して以来、団員相互の親和を基礎とし、技術の向上と意識の高揚に努めた。その結果消防団の組織も強固なものとなり、火災等多くの現場で活躍し被害の軽減に努め団員及び地域住民から大きな信頼を得ている。

自らの豊富な知識と経験に基づき団員の教育訓練に力を注ぎ、訓練礼式や消防ポンプ車操作はもとより、消防機械器具の操作や点検整備、現場における安全管理、交通安全思想の向上に尽力するなど、精力的かつ情熱的な姿勢は高く評価するところであり、その功労は多大である。

にしかわ さぶろう
○西川 三郎

富山県・氷見市消防団 団長

昭和61年8月に入団して以来、36年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

平成24年9月の団長就任後は、機能別消防団員制度や休団制度の導入、消防団サポート事業では消防団員を応援するための店舗を集めるなど消防団員の確保対策に努めた。

また、国土交通省と協定を締結し、国道清掃を積極的に行い、避難経路確保・美化活動に尽力するなど数多くのボランティア活動に努めた。

平成30年5月から富山県消防協会の副会長としても尽力し、その功績は誠に顕著である。

まつお ゆきお
○松尾 幸夫

三重県・亀山市消防団 団長

氏は昭和48年4月に入団以来、47年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

災害発生に際しては、常に市民の尊い生命財産の保護にあたり、消防人としての職責を全うしていることは、市民等しく認めるところでありその功績は誠に大なるものがある。

令和2年12月22日、市内において廃プラスチックリサイクル工場約3,600㎡が全焼する建物火災が発生した際、団長として直ちに最前線で指揮を執り、火勢鎮圧に貢献した。

また、小型ポンプ操法の訓練指導に尽力し、県消防操法大会2連覇を果たすとともに、初の全国消防操法大会出場へ導いた功績は誠に顕著である。

かわかみ きよふみ
○川上 清記

長崎県・雲仙市消防団 団長

昭和60年7月に小浜町消防団班長拝命以来、終始一貫消防の使命を自覚し、火災の予防鎮圧、風水害の救援、警戒活動に尽力し、消防力の整備強化、団員の訓練に努め、市民の生命財産の保護に大きな功績をあげている。

平成8年1月にそれまでの消防活動に対する積極的な姿勢が評価され、副団長に就任、その後ますますその職務を自覚し、信念をもって実直に行動し、団員、住民の推挙によって、平成15年1月に小浜町消防団長に就任した。

平成17年10月に7町合併に伴い、雲仙市消防団副団長に就任。豊富な消防経験と知識をいかんなく発揮し、団員の育成指導、住民の防火思想の普及向上に努め、平成22年4月に全団員と地域住民の熱烈な推挙によって雲仙市消防団長に就任した。

氏の消防にかける意思は、団員のみならず地域住民から厚い信頼を得ており、消防防災に対する住民の負託に対して、日夜奮闘、研鑽する氏の精神は消防団にとって欠かせない模範たるものである。

みちわき しんいちろう
○道脇 慎一郎

大分県・臼杵市消防団 副団長

昭和58年4月に入団以来、40年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

防災力の強化に努めるべく、消防団の機械庫に土のう用砂置き場を設置し、また、土のう積み訓練を実施するなど地域で対応できる体制を築いた。令和4年9月に接近した台風14号において、河川の増水や雨水が住家へ流れ込むなど住民から助けを求められた。土のう積みや、避難所への誘導など対応を行い、一人の犠牲者も出すことなく活動を終えることができた。

これもひとえに日頃からの努力の賜物であり、その功績は誠に顕著である。

女性（婦人）防火クラブ員

あんざい まさこ
○安齋 政子

福島県女性防火クラブ連絡協議会 会長

平成4年4月に福島市信夫女性防火クラブ（当時：信夫婦人消防隊）に入隊、平成6年4月に副隊長に、平成18年4月から現在に至るまで会長を就任している。

また、平成19年5月に福島市女性防火クラブ連絡協議会副会長に、平成30年4月に現在に至るまで同連絡協議会会長に就任している。

火災のない住みよい郷土づくりのため、住民一体の火災予防の普及、徹底、防火思想の高揚を図ることを目的に活動している。

平成30年7月から福島県女性防火連絡協議会副会長に、令和3年2月から同連合会会長に就任している。会長就任後は、防火思想の高揚、啓発を図るため、女性層を中心とした研修会、各種の防災訓練に積極的に参加、防火意識の向上に努めており、組織の発展と地域の防火・防災体制の推進に尽力している。

地域防災の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

おがさわら すよこ
○小笠原 壽予子

高知県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

平成21年2月のみさと女性防火クラブ発足時から、同クラブの会長として、地域での防火活動に積極的に取り組み、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

平成27年6月からは高知県女性防火クラブ連絡協議会の理事、副会長を歴任し、令和3年6月に同協議会の会長就任後は、各地域での活動の停滞化やクラブ員の高齢化による後継者不足問題に思慮し、その解決策等を協議するなど女性防火クラブの活動の機運を醸成させるべく尽力している。

また、会長として県内外の研修会や全国婦人防火連合会総会等へ積極的に参加し、県内女性防火クラブの橋渡し役として寄与しており、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり他の模範である。

きたむら かずえ
○北村 和江

石川県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

昭和60年の鳥屋町婦人防火クラブ（現鳥屋女性防火クラブ）結成時からクラブ員として各種行事に参加し、平成17年4月には同クラブ会長に就任する。また、平成24年5月に石川県女性防火クラブ連絡協議会の委員となり、平成26年5月からは同連絡協議会副会長に就任しているなど、地域の代表として防災啓発活動を推進している。

石川県女性防火クラブ連絡協議会副会長に就任してからも、防災に関する行事、訓練など積極的に参加し、学校や高齢者福祉施設に対し防災講話を行うなど顕著な活動を続け、令和5年3月にも、消防機関が行う防火キャンペーンにクラブ員を率いて協力参加するなど、依然として防災に対する意識は高く、その姿勢は他の模範である。

かわかみ むつこ
○河上 睦子

鳥取県女性防火・防災連絡協議会 副会長

平成18年12月に鳥取県女性防火・防災連絡協議会設立にあたり幹事として尽力し、平成29年6月から現在に至るまで副会長として同協議会の会長を補佐しながら、消防団員として培った消防経験と豊富な知識を発揮し、同協議会の発展に多大な貢献をしている。

また、平素から被害が発生又は拡大することを未然に防ぐ指導、啓発においても積極的に取り組み、地域の放水訓練や町及び広域消防が行う防火啓発等に積極的に協力し、地元の安心・安全に貢献している。

平成23年、第20回全国女性消防操法大会に鳥取県代表で出場するにあたり特別熱心に取り組み、仕事と家庭を両立させながら、夜間・休日に延べ100回に及ぶ訓練を行い、消防の技術力・精神力の向上に向け一致団結して取り組む姿は誠に顕著であり、また、令和4年10月に日本防火・防災協会会長表彰受賞するなど、他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	18	27
	団体	9	
消防功労者表彰	消防団員	10	14
	女性(婦人) 防火クラブ員	4	